

# 石油 製造

東洋一の人造石油滝川工場

国立科学博物館「重要科学技術史資料」  
登録記念特別展

2022.

6.18<sup>Sat</sup> - 8.21<sup>Sun</sup>

[開館時間] 10:00~17:00(最終入館 16:30)

[休館日] 月曜日(7月18日を除く)・7月19日(火)・8月12日(金)

[入場料] 一般300円/高校生以下 無料

滝川市美術自然史館  
Takikawa Museum of Art & Natural History

北海道滝川市新町2丁目5番30号  
Tel.0125-23-0502

主催：滝川市美術自然史館/協力：滝川市郷土研究会・滝川市美術自然史館協会の



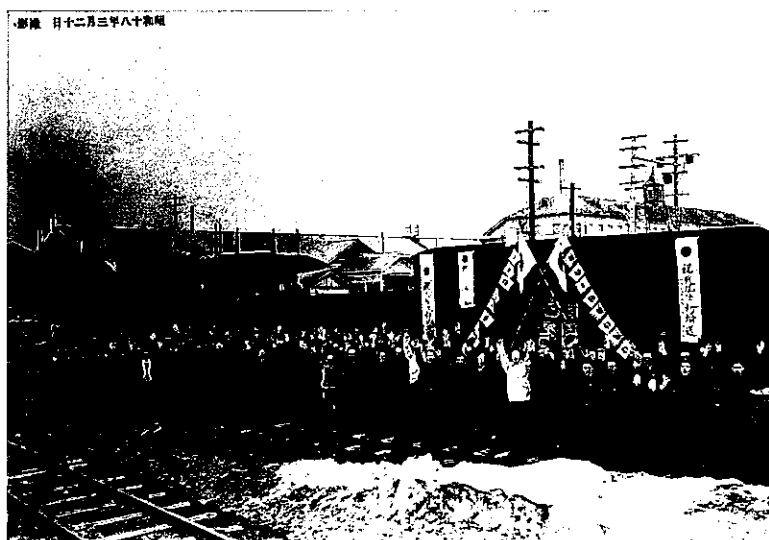
滝川に突如出現した東洋一の化学工場…北海道人造石油株式会社滝川工場は、太平洋戦争前後に存在した化学工場です。戦時中、国策として「石炭から石油を造る」ため、現在の金額で1兆円とも言われる巨費を投じて建設されました。

工場敷地として158haもの広大な面積を持ち、滝川の地に当時最先端の工場群が立ち並びました。日本中から優秀な頭脳が集い、最盛期には2,000人を超える従業員がいたことから「東洋一の化学工場」と呼ばれ、人造石油の製造は、戦前から戦後にかけての滝川の歴史を語るうえで欠かすことのできないプロジェクトでした。

2021年9月、人造石油工場の関係資料が国立科学博物館により重要科学技術史資料に登録されました。また、2022年は1942年に工場ですべて石油が作られて80年となる節目の年でもあります。本特別展では、巨大な工場群を1/750スケールの模型で再現。当時の写真や資料などとともにふるさと滝川の大きな歴史の1ページを振り返ります。



発生炉工場にて(1944年)



ディーゼル油初輸送(1943年)

国立科学博物館「重要科学技術史資料」登録記念特別展

# 石油ヲ造レ

## 東洋一の人造石油滝川工場



人造石油(滝川工場製)



製品ラベル ディーゼル油「くろりゆり」

### (関連事業)

#### ■講演会「人造石油がもたらしたもの」

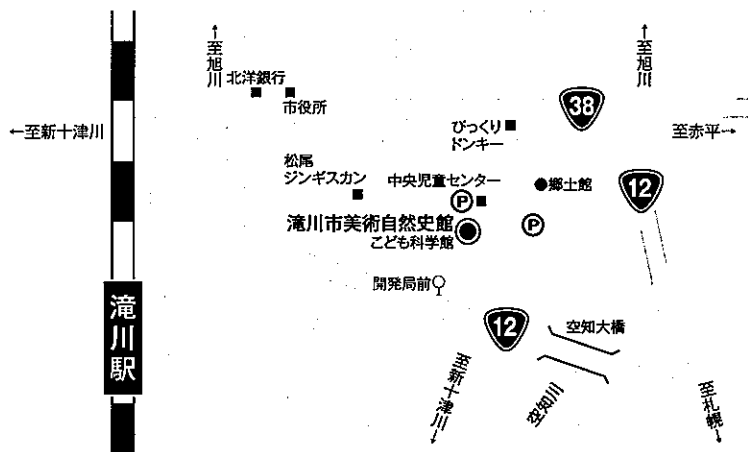
日時/6月18日(土) 10時30分～  
 場所/滝川市美術自然史館ロビー  
 講師/白井重有氏(滝川市郷土研究会参与)  
 定員/50人  
 参加料/無料

#### ■ギャラリートーク

日時/7月9日(土) 13時30分～  
 場所/滝川市美術自然史館特別展会場  
 講師/当館学芸員  
 定員/20人  
 参加料/特別展入場料が必要です

#### ■ワークショップ「石炭を燃やしてみよう」

日時/7月30日(土) 13時30分～  
 場所/滝川市美術自然史館 前庭  
 参加料/無料



※駐車場は中央児童センター駐車場をご利用ください。

**滝川市美術自然史館**  
 Takikawa Museum of Art & Natural History

北海道滝川市新町2丁目5番30号  
 Tel.0125-23-0502

#### [交通案内]

- 徒歩: JR滝川駅から20分
- バス: JR滝川駅前バス乗り場から開発局前停留所まで下車、徒歩5分
- タクシー: JR滝川駅から5分